



田村市立都路中学校

学校だより 第12号

令和6年6月28日（金）

発行責任者：校長 佐藤 仁

TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

中学校卒業後の進路実現のために

定期テストⅠが6月25日（火）に実施されました。2週間前には各教科の試験範囲が発表され、生徒には家庭でのテスト勉強の予定を立て計画的に取り組むよう指導しました。お子様の家庭での学習状況はどうだったでしょうか。

学力の向上や基礎基本の定着には授業と家庭学習にしっかりと取り組むことが大切であることは言うまでもありません。毎日の積み重ねが定期テストの結果につながり、最終的には高校受験での合否につながります。

高校受験において、生徒の皆さんの日頃の頑張りがどのように評価されるかを確認したいと思います。福島県の公立高等学校の受験（前期一般選抜の場合）の際には、学力調査（国語、社会、数学、理科、英語）と面接試験、そして中学校から受験校に送られる「調査書」が合否の資料となります。調査書には、3年間の学習の記録や総合的な学習の時間、生徒会活動、部活動、漢字検定などの検定試験の結果など、生徒の皆さんが3年間取り組んだことが記載されます。



調査書の学習の記録について確認しておきたいのは、5教科（国語、社会、数学、理科、英語）以外の**4教科（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）については、評定が2倍になる**ということです。5教科だけ頑張っていれば受験は大丈夫と思っている生徒もいるかもしれませんが、4教科の勉強をおろそかにすることが、いかに受験の際にマイナスになってしまうかがわかります。

次の例を参考にしてほしいと思います。

<AさんとBさんの調査書の評定（1年次）>

| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 | 音楽 | 美術 | 保体 | 技家 | 合計 | 調査書の合計点 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| Aさん | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 5 | 5 | 34 | 52/65 |
| Bさん | 5 | 4 | 4 | 5 | 5 | 2 | 3 | 3 | 3 | 35 | 45/65 |

※ 調査書上の満点65点×3学年＝195点満点です。

極端な例になりますが、受験教科である5教科に力を入れたものの、他の4教科の授業や家庭学習をおろそかにしたBさん。4教科の授業にも熱心に取り組んだAさん。受験の際に高校側に提出する調査書の点数が逆転しています。4教科の授業については週に1度しかない教科もあります。だからこそ、しっかりと授業そして家庭学習に取り組む必要があります。日々の努力の積み重ねがいかに大切かがわかっていただけたらと思います。受験時の学力検査にない教科だからといって油断しないことが大切です。

日々の授業をおろそかにしたり、宿題や提出物を出さなかったりしても、受験当日の学力検査でよい結果を残せば合格できると思ったら大間違いです。中学校3年間の授業や家庭での日々の地道な努力の積み重ねが評価されます。受験間際になって、必要以上に不安になったり後悔したりしないように、毎日の取り組み（授業、予習・復習、提出物、小テストなど）を大切にしてほしいと思います。